

(様式1)

(日本産業規格 A4)

## 第4次米沢市食育推進計画（案）に係るパブリック・コメントの結果

### 1 募集対象計画等

第4次米沢市食育推進計画（案）

### 2 募集期間

令和7年11月1日(土)～令和7年11月20日(木)

### 3 意見の提出者数及び件数

提出者数 0者／提出件数 0件

### 4 意見の内容及び意見に対する回答

なし

## 第4次米沢市食育推進計画（案）に対する議会からの意見への回答について

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
民生常任委員会協議会（10月21日）での意見					
1	計画全体		<p>国の食育基本法は食に関する広範な領域を扱うのに対し、米沢市の食育推進計画(案)は地産地消に特化しているように見える。食はより複雑な要素を含むのではないか。より広い視野で食育について考えられるよう、様々な項目を盛り込むように検討してはどうか。</p>	<p>第4次米沢市食育推進計画(案)において取り扱う範囲については、国や県の計画に示されている方針を踏まえつつ、本市の実情や課題に合わせて策定を行ったところであります。</p> <p>計画の内容をより分かりやすく表現するため、第3章「4計画の体系」において、各施策に対応する「食育ピクトグラム(別紙参照)」を併記し、施策の方向性が視覚的にも理解しやすいよう整理しました。</p> <p>「食育ピクトグラム」とは、「食育」について子どもから大人まで誰にでもわかりやすく発信するツールとして農林水産省が作成したものです。国のこれまでの食育推進基本計画において目標として掲げられ、「普遍的に取り組むべき項目」から選択された全12項目で構成され、「共食」や「生活習慣病の予防」、「食の安全」、「環境への配慮(調和)」、「日本の食文化の継承」等の内容が含まれています。</p> <p>第4次米沢市食育推進計画(案)では、パブリック・コメント実施時点で「7 災害への備え」を除く11項目を満たしておりましたが、頂いた意見を踏まえ、第4章「1基本施策の展開 基本施策3 環境や循環を意識し、食を守る食育の推進」へ同内容を追記することで、全12項目をすべて満たすよう、見直しを行いました。</p>	有

2	計画全体		<p>食育とは何を指しているのか？</p> <p>「食育」という言葉が、まだまだ市民に理解されていないのではないかと。食育を実践するとは、どういった行動をすればよいのかを分かりやすく示していただきたいと思う。</p>	<p>国の食育基本法においては、食育を「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進すること」としてあります。</p> <p>本市が策定する第4次米沢市食育推進計画(案)では、米沢市が目指す食育の姿をスローガンである「なせば成る 広げてつなぐ 食育の「和×輪×環」」で表現しました。このスローガンは、「和・輪・環」の3つの「わ」が関わりあうことによる相乗効果によって、一人ひとりの食育活動がさらに広がり、つながりを深めていくことを目指しています。</p> <p>本計画ではこれらの考え方にに基づき、食育を推進するための基本施策と目指す姿を整理しました。食育を実践するための行動イメージをもっといただけるよう、第4章において「家庭」「学校等」「関係団体」「行政」それぞれの役割に分け、具体的な取組内容を記載しており、これらを参考に食育を実践していただくよう、想定して作成しております。</p> <p>さらに、計画中に「食育ピクトグラム」を用いることで、食育の取組内容を視覚的にも理解していただけるよう変更しました。</p>	無
3	第3章	29	<p>数値目標の9番「学校給食における米沢産野菜の使用割合」について、金額ベースを用いることは目標設定として適切なのか？金額ベースでは、例えば高価な食材を使用するなどすれば容易にクリアできてしまうのではないかと？</p> <p>そもそもこの目標設定をする必要があるのか？</p> <p>地理的、学校日程上の条件を考えると的を射ておらず、</p>	<p>国や県において基準を金額ベースとしていたことから、金額ベースとしたところですが、金額ベースの場合、高価な特定の品目の購入や価格の高騰などにより、少量でも利用率が高く見えてしまうことが考えられますので、重量ベースについても情報提供できるようにしてまいりたいと考えております。</p>	無

			<p>目標として挙げる是非を考えてもらいたい。</p>	<p>本市は雪国であり、降雪期には野菜が収穫できないことや、夏野菜が収穫できる時期は夏季休業中のため給食が提供できないといった学校給食における野菜の提供について、不利な状況にあることは認識しております。</p> <p>そのような状況においても、寒中野菜をはじめ時期に応じた地場産の野菜をなるべく給食に利用することで、子どもたちに「旬を知る」「生産者の顔が見える」「フードマイレージ（地産地消により環境負荷の低減）を考える」など食育の視点からもその取組を継続して推進していく必要があると考え目標値として設定したところです。</p>	
4	第4章	33 34	<p>食のバリエーションは基本的に家庭で作られるものだと考えている。多世代で食を囲むことで、伝統食に触れる機会が増えるなど、家庭の中でどのように食に向き合うかが食育の中心だと思う。</p> <p>このことから、計画中で家庭の役割についてももう少し言及するべきではないか。家族がそろって食事をとることの重要性や優位性をこの計画でもうたうべきだと思う。</p>	<p>ご指摘の家庭における役割の重要性を踏まえ、第4章基本施策2において、家庭での共食の重要性について、「特に家庭における共食の影響は大きく、家族が食卓を囲むことは食育の原点となります」との記述を追記しました。</p> <p>また、これに合わせて「主な取組」のうち「家庭」と「関係団体」での取組内容に、「家庭での共食の機会を持つ」や「食に関する話題や交流の機会にふれる」の項目を追記し家庭における食育の実践をより具体的に示すよう見直しを行ったところです。</p>	有
5	表紙・裏表紙		<p>表紙、裏表紙に関して、手に取りたくなるようなデザインにしていきたい。</p> <p>例えば、表紙のデザインについて、米沢鯉がシルエットであること、また館山りんごと思われるイラストの色合いが気になる。裏表紙もシンプルであるため、もっとこだわってほしい。</p>	<p>表紙、裏表紙ともにご意見を基にイラストやデザインを見直しました。</p> <p>特に、裏表紙には令和5年度に県立米沢栄養大学や市内放課後児童クラブ、米沢市食生活改善推進協議会の協力を得て作成した「よねざわ食育かるた」から、米沢の特色がよく表現されている札を取り上げて掲載しました。</p>	有

市政協議会（10月24日）での意見					
1	第3章	29	<p>数値目標の9番「学校給食における米沢産野菜の使用割合」について、農業振興計画と統一性を図った方がよかったのではないかと。</p> <p>農業振興計画では置賜産野菜の使用割合に対して重量ベースを目標としており、第4次米沢市食育推進計画(案)では米沢産野菜の割合で金額ベースとなっており、わかりにくい。同じ数値を採用したほうが分かりやすいのではないかと？</p>	<p>国や県において基準を金額ベースとしていたことから、金額ベースとしたところですが、金額ベースの場合、高価な特定の品目の購入や価格の高騰などにより、少量でも利用率が高く見えてしまうことが考えられますので、重量ベースについても情報提供できるようにしてまいりたいと考えております。</p>	無

意見 6件